

計画事業番号	00451	事務事業名	交通安全推進事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	824
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市交通安全条例・北広島市交通安全推進員設置規程ほか				
事務事業開始年度	昭和39年度	個別計画等	北広島市交通安全計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境につつまれた安全なまち
	(第 6 節)	交通安全の推進
	(施策 1)	交通安全意識の充実
2 対 象	市民	
3 目的と内容	交通安全推進員、交通安全学童指導員、交通安全指導員の配置、道路危険箇所への注意標識等の設置及び公安委員会に対し規制要望等を行い、交通安全意識の定着と事故の抑止を図る。 また、各交通安全関係団体、地域住民及び民間企業などで構成される北広島交通安全運動推進委員会が実施する、広報・啓発活動、交通安全教室の実施及び交通安全に係る民間団体の育成に対し交付金を交付し、市全体が一体となった交通安全運動を展開する。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容(手段)	27年度まで	①交通安全推進員を2名、交通安全学童指導員を7名、交通安全指導員を24名配置。 ②地域からの要望などによる道路危険箇所への注意標識(電柱幕)等の設置 ③北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付。 【北広島市交通安全運動推進委員会の主な活動内容】 ・各種交通安全教室や街頭指導等 ・自動2輪車安全運転講習会、高齢ドライバー交通安全教室及び冬道安全運転講習会の実施(市内自動車学校との共催) ・交通安全運動の展開(交通安全情報誌の配布、事故分析「セーフティきたひろしま」の配布、交通安全市民大会、パネル展、交通安全運動習慣等街頭啓発、サマーセーフティキャンペーン等)、交通安全活動団体(地区交通安全協会・協議会およびごまクラブ)への活動費の一部助成
	28年度	これまでの交通安全活動を継続して実施し、着実な事故件数の減少を目指すとともに、平成28年度も、札幌厚別警察署管内の交通安全に携わる関係機関・団体が集まり月1回のネットワーク会議を開催し、情報提供や意見交換などを行い、各関係機関・団体が連携した交通安全活動を実施する。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
・交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 ・注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 ・北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付。	交通安全に係る推進員2名、学童指導員7名、交通安全指導員24名の配置 ・注意標識等設置23箇所 ・交付金額1,797,920円 ・ネットワーク会議12回	・交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 ・注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 ・北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付。 ・ネットワーク会議への参加	・交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 ・注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 ・北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付。	・交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 ・注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 ・北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付。

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。また、厚別警察署管内の交通安全に携わる関係機関・団体で構成されるネットワーク会議に参加し、関係機関等との情報の共有などによる連携の強化を図ることによって、より効果的になった取組を行う。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			13,854	14,851	14,703	14,937
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	13,854	14,851	14,703	14,937
		① 合計	13,854	14,851	14,703	14,937
	人件費	② 人数(年間)	0.80	0.80	0.80	0.80
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	7,200	7,200	7,200	7,200
		総事業費①+④	21,054	22,051	21,903	22,137

【評価指標】

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①北広島市交通安全運動推進委員会交付金	目標値	円	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
		実績値		1,797,920			
	②推進員、学童指導員、指導員配置数	目標値	人	37	37	37	37
		実績値		33			
	③注意標識の設置枚数	目標値	枚	20	20	20	20
		実績値		8			
	④公安委員会に対する規制要望	目標値	件				
		実績値		177			
成果指標	① 交通事故発生件数(高速含)	目標値	件	165	155	155	155
		【指標の定義(算式等)】 実績値		155			
	② 交通事故死者数(高速含)	目標値	人	0	0	0	0
		【指標の定義(算式等)】 実績値		1			
	③ 交通事故傷者数(高速含)	目標値	人	206	188	188	188
		【指標の定義(算式等)】 実績値		188			

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	安全で安心なまちづくりの実現に交通安全の推進は必要不可欠であり、北広島市交通安全条例に基づき交通安全の推進に努める必要がある。また、交通安全教育の推進や広報・啓発活動を実施する北広島交通安全運動推進委員会に交付金を交付し、市全体が一体となって交通安全運動を展開することによって、より効果的な交通安全意識の充実が図られる。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	過去10年間の事故の発生状況を見ると、死者数はほぼ横ばいであるが、発生件数及び傷者数は着実に減少しており、平成27年には30年ぶりに傷者数が200人を下回った。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	交通事故の発生状況は年々減少傾向にあり、継続して交通安全の推進を行うことによって更なる交通事故件数の減少が見込まれる。また、各関係機関・団体と連携し取り組むことによって、より効果的な取り組みを行うことができる。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	交通安全の推進に必要不可欠である交通安全推進員、交通安全学童指導員及び交通安全指導員は設置規程に基づき設置されており、北広島交通安全運動推進委員会に対し交付金を交付することで、市全体が一体となった交通安全運動を展開ことができ、効果的・効率的に事業が進められている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
------------------------------------	--

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号	451
--------	-----

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	交通安全運動推進委員会交付金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市交通安全運動推進委員会 会長 上野 正三	設立年	昭和39年4月
構成員(団体)数	市内各団体の長 54名 (28年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	市民が悲惨な交通事故の当事者になることのないよう、安全に生活できる環境や意識を高めることを目的に、市民各層に対する交通安全教育などの交通安全運動を展開することで、自他の生命を尊重し行動できる人間性を養い交通ルールを遵守するための行動体系や倫理体系の確立を図る。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園等こぐまクラブ、小中高等学校、老人クラブ、自治会等を対象とした交通安全教室の開催。 ・ 交通安全啓発事業として、交通安全情報誌、「セーフティきたひろしま」等の配布、交通安全ポスターの掲示、「広報北広島」への掲載、交通安全市民大会、パネル展の開催、自動二輪車、高齢ドライバー、冬道安全運転講習会、街頭啓発、サマーセーフティキャンペーン、成人式等の街頭啓発の実施。 ・ 交通安全活動団体の育成。 		
事務局の状況(27年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

区 分		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	1,794	1,798	1,800	
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	1,794	1,798	1,800	
支 出	報償費	93	93		
	需用費	977	1,011		
	負担金補助及び交付金	440	440		
	備品購入費	83	59		
	旅費	9	9		
	役務費・会場使用料及び賃借	100	94		
	負担金	92	92		
支 出 合 計(C)	1,794	1,798	0		
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	1,800	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合(A)÷(C)		100 %	100 %	%	
補助・交付金の対象経費(項目)		支出全項目	支出全項目	支出全項目	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		1,794	1,798	1,800	
対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠		定額補助			